

田園調布学園大学大学院

- 1) 修了認定・学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]
- 2) 教育課程編成・実施の方針 [カリキュラム・ポリシー]
- 3) 入学者受入れの方針 [アドミッション・ポリシー]

人間学研究科は、本学の建学の精神「捨我精進」基礎として、子ども人間学専攻では、「保育実践において省察ができる質の高い実践家」を養成することを目的とし、心理学専攻では、「多様・多元な人々の共生を志向する心理支援の専門職」を養成することを目的としています。

人間学研究科子ども人間学専攻

1) 修了認定・学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]

人間学研究科子ども人間学専攻では、「子どもを人間としてみる」という新しい保育観に立つ「子ども人間学」を基礎にして、人間学的学識に基づく質の高い実践家（省察的実践家）の養成を目指します。本専攻での学びにおいて、上記のような専門性を身に付け、必要な単位を修得し修士論文審査を通った学生に対し、学位（修士「子ども人間学」）を授与します。

2) 教育課程編成・実施の方針 [カリキュラム・ポリシー]

人間学研究科子ども人間学専攻の教育課程は、保育の質・専門性の高度化に取り組むリーダー的人材育成を目指して編成された体系となっています。ディプロマポリシーの実現、つまり人間学的学識に基づいた質の高い「省察的実践家」の養成を目指し、「基礎科目」「基本科目」、そして「専門科目」という三つの区分における学習成果と、「研究指導」が体系的につながるように構成されています。

「基礎科目」である「人間学総論」では「子ども人間学」の基礎を養い、5つの基本科目では人間とは何かについて俯瞰的、包括的に探究できる力を養います。「子ども人間学領域」と「関連領域」から構成される専門科目では、子どもを核とした複雑で多層的な保育実践を的確に捉え、その背景や構造を読み解く力を養います。「研究指導」では、学生自身の研究テーマを明確にし、最終的に専門的視点から修士論文を作成するための指導を行います。

3) 入学者受入れの方針 [アドミッション・ポリシー]

- 人間学研究科子ども人間学専攻では、次のような資質や素養を有する者に入学を許可します。
- ・人間学的学識に基づく人間学の基礎を学び、また保育・教育の現場での経験を省察し、大学院での学問的探究に積極的に取り組むことができること。
 - ・子どもへの関心と共感を持ち、その育ちを支える実践や環境づくりに積極的に取り組み、子ども人間学の研究に携わろうという意欲があること。
 - ・幼稚園・認定こども園・保育所・その他の児童福祉施設あるいは地域子ども・子育て支援事業の関連施設における保育・教育の充実に関わろうとし、そのために自らの研究を進めようとする意欲があること。

人間学研究科心理学専攻

1) 修了認定・学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]

人間学研究科心理学専攻では、学部教育の上に人間学的学識に基づき、支援を求める個人や集団が様々な人々との関わりの中で、自らの求める文化性、経済性、芸術や余暇、生活環境などをいかに安心して実現できるかという視点を持ち、地域の共生実現に寄与できる高度な心理支援の専門家の養成を目指します。そのため、本専攻での学びにおいて、以下に掲げる課程修了時の資質・能力を身に付け、必要な単位を修得し修士論文の審査に合格した学生に対し、学位（修士「心理学」）を授与します。

1. 心理支援対象者を、人間的活動（日常生活、趣味、社会活動など）をおこなう存在であることを認識した上で、多様な対象者に対し支援をおこなう能力がある。
2. 福祉、保健・医療、教育、産業・組織、司法・犯罪など広汎な領域における人の心の問題を理解し、支援を求める人や集団への高度な心理支援を計画・実施する能力がある。
3. 高度な心理支援に関連する知識や技術を体系的に整理し、実践に応用する能力がある。
4. 自らの心理支援活動を常に省察し俯瞰的な視点で活動の適切性を確認する能力がある。
5. 心理支援対象や関係者、関連他職種と柔軟で効果的なコミュニケーションをおこなう能力がある。
6. 高度な心理支援専門職としての高い倫理性と責任性が身についている。
7. 心理支援に関する実践を研究者としての視点で見つめ、必要に応じて探索、実証する能力がある。

2) 教育課程編成・実施の方針 [カリキュラム・ポリシー]

人間学研究科心理学専攻の教育課程は、人間学的学識に基づいた質の高い「省察的实践家」の養成を目指し、心理支援の実践科目の基盤として学部教養科目から高度化した人間学的学識として涵養を形成させる「基礎科目」、「基本科目」と心理支援の知識と技術を主体とする「専門科目」による三つの科目区分によって構成されています。

「基礎科目」である「人間学総論」では、対人支援者が人間学的学識を有することの意義と、それに基づき省察的实践をおこなうことの意味を学修し、「基本科目」の「人間学研究法」では、修士論文作成における高度な研究法を修得し、省察的实践において大きな役割を果たす客観的態度等を養います。「専門科目」は、公認心理師を養成するカリキュラムを中心とし、下位区分として「基幹科目」、「展開科目」、「実践実習科目」を設定し基礎的科目、応用的科目、心理実践の実習に関する授業科目を体系的に配置しています。

そして、心理支援を視野に入れながら科学性を追求する「研究指導」は、「基礎科目」及び「基本科目」の根底に流れる人間学的学識との関わりを省察に活かし、体系的・有機的に学修を進める指導を行います。

3) 入学者受入れの方針 [アドミッション・ポリシー]

人間学研究科心理人間学専攻では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、次のような資質や素養があり、本専攻の教育課程及び教育・研究の指導体制に従って学術の研究を進め、それぞれの修学目的を達成する見込みがある者に入学を許可します。

- ・知識・技能

心理学研究に不可欠な専門的基礎知識、特に心理支援に必要とされる心理アセスメント、介入についての基礎知識、技術を身に付けていること。

- 思考力・判断力・表現力

心理学研究遂行に必要な倫理的判断力、思考力及び表現力を身に付けていること。

- 意欲・関心・態度

建学の精神「捨我精進」に沿って、他者と協同して教育・研究・実践に当たることができ、人間の多様性、多元性の共生を志向する心理支援の専門家として社会に貢献する目標を持っていること。